

令和3年9月15日

1年生保護者様

丹波篠山市立篠山東中学校
校長 足立 貞治

丹波篠山市立篠山東中学校 学習・生活に関する学力向上プラン

本校では、中学1、2年生を対象に5月に実施した丹波篠山市学力・生活習慣状況調査をもとに授業等の改善を行うため、本紙『学習・生活に関する学力向上プラン』を作成しました。学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習及び生活習慣の改善や学校の教育活動に対してご支援いただければありがたいと思います。

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要

『国語科』

全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況です。基礎学力が備わっており、特に【文学作品の読み取り】【漢字の読み書き】の力が備わっています。課題点は【調べたことをもとに資料を書く】や【活用問題】でした。

『数学科』

【量と測定】【数量関係】に関して、良好な結果でした。小学校で繰り返し学習を行い基礎・基本の定着が図られていると考えます。課題は、【整数の性質】【平面図形】【百分率】を含む問題です。普段の授業の中で、問題文の読み取りや問題に対して深く考えることへの苦手意識をなくしていけるよう指導していきます。

『学習・生活習慣等についての意識アンケート』

【自己認識】【社会性】【学級環境】【生活・学習習慣】の全項目において全国値を上回る良好な結果でした。これらは、学校と家庭・地域とが連携して子どもたちに働きかけてきた成果だと考えています。今後も、家庭でのご指導をよろしくお願い致します。

現在の課題および今後の学力向上方策

『国語科』

【調べたことをもとに資料を書く】【自分の考えを書く】などの、【書く】分野に課題がみられました。自分の考えを自由に書くのではなく、時間内に、指定された文字数や語彙を使って書くということに慣れていなかったようで、書き切れていない解答が目立ちました。今後は、自由作文の他に指定作文等、時間内に自分の考えをまとめる活動に力を入れていきます。

『数学科』

【整数の性質】【平面図形】【百分率】の問題に課題が見られました。図形の領域ではICTを活用して視覚的に支援を行い、問題解決能力を高めていきたいと考えています。数量関係の領域では身近な事柄を使って、割合等の考え方・求め方を正確に理解させたいと考えます。また、どの領域においても、ペア学習やグループ学習を実施し、話し合いや説明し合う活動を行うことで知識・技能の定着を図ります。

『学習・生活習慣等についての意識アンケート』

特に【社会性】において、良好な回答が見られました。様々な問題に直面した時、正しい判断ができ、社会のために行動できる人に成長していけるよう今後も支援していきたいと考えています。また、普段の学校生活を中心に、体育大会や文化祭、生徒会行事に力を入れ、成功体験を積み上げていくことで、自信や意欲の向上につなげていきたいと思っております。そのことが学力向上につながるという視点を持ち、授業改善はもちろんのこと、特別活動の充実も図っていききたいと思っております。

【保護者へのお知らせとお願い】

本校では、今回の調査結果を生かして、お子様一人一人についての学習の在り方や生活習慣について、指導方法を検証し、取組を充実させていきます。

ご家庭におかれましても、子どもたちの家庭学習のあり方や生活習慣について今一度ご確認いただき、支援をよろしくお願い致します。

また、子どもたちの持てる力をさらに伸ばしていくために、周りの支えが何より必要です。個々の成長、そしてより良い集団づくりのために、学校と家庭・地域とが連携して子どもたちを支えていけますよう、ご協力をよろしくお願い致します。